

2011～2014年度入学者対象

公認心理師指定科目読み替えにかかる本学カリキュラムの対応表

< 受験資格の特例 >

「公認心理師法」が施行される(2017年9月)時点で大学に入学している者は、**公認心理師指定科目のうち、①と③を除いた23科目をⅠ～Ⅴの5つに分類し、それぞれについて定めた科目(合計12科目以上相当)を修めている場合に**、法附則第2条第1項第3号又は同項第4号に該当するものとする。

公認心理師指定科目			本学 心理科学部臨床心理学科における対応科目 (2011～2014年度学則)			
分類	要件	科目名	科目名		備考	
	修得不要	①公認心理師の職責				
Ⅰ	②～⑥から 3科目 以上修める	②心理学概論	心理学概論Ⅰ	必修	両科目を修得していれば、②に該当	
			心理学概論Ⅱ	必修		
		③臨床心理学概論	臨床心理学	必修		
			④心理学研究法	心理学研究法Ⅰ	必修	両科目を修得していれば、④に該当
				質的データ解析法	選択	
		⑤心理学統計法	心理統計学	必修		
		⑥心理学実験	心理学実習Ⅰ	必修		
Ⅱ	⑦～⑬から 4科目 以上修める	⑦知覚・認知心理学	感覚知覚心理学	選択	両科目を修得していれば、⑦に該当	
			認知心理学	選択		
		⑧学習・言語心理学	学習心理学	選択	両科目を修得していれば、⑨に該当	
		⑨感情・人格心理学	感情心理学	選択		
			人格心理学	選択		
		⑩神経・生理心理学	生理心理学	選択		
		⑪社会・集団・家族心理学		—		
⑫発達心理学	発達心理学	選択				
⑬障害者・障害児心理学	障害児(者)心理学	選択				
Ⅲ	⑭⑮⑲⑳から 2科目 以上修める	⑭心理的アセスメント	心理アセスメント概説	必修		
		⑮心理学的支援法	心理療法論	必修		
Ⅳ	⑯～㉑から 2科目 以上修める	⑯健康・医療心理学	健康心理学	選択	両科目を修得していれば、⑰に該当	
			社会福祉学	選択		
		⑰福祉心理学	臨床心理学の現場(医療・福祉)	選択		
		⑱教育・学校心理学	学校教育心理学	選択		
		⑲司法・犯罪心理学		—		
⑳産業・組織心理学	臨床心理学の現場(産業・社会)	選択				
Ⅴ	㉒㉓から 1科目	㉒人体の構造と機能及び疾病		—		
		㉓精神疾患とその治療	精神医学	選択	どちらか一方を修得していれば、㉓に該当	
		心身医学	選択			
	修得不要	㉔関係行政論				
Ⅲ	⑭⑮⑲⑳から 2科目 以上修める	㉔心理演習	—			
		㉕心理実習(80時間以上)	—			